

---

# 獸蹄鳥跡

SYo-KeN

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

獣蹄鳥跡

### 【Zコード】

N3117M

### 【作者名】

SYO-KEN

### 【あらすじ】

「獣蹄鳥跡」（じゅうていじょうしき）

世が乱れて獣や鳥が横行すること。

- ・今作は東方Projectの一次創作小説です。オリジナルキャラとか平気で出てくるのでご注意ください。むしろオリジナルキャラ主体です。
- ・現在携帯でひつそりと執筆している東方一次創作小説「ハーフサ

イクル（仮）「との若干の関連を持っているため、そちらと同時進行で更新するため更新は遅いです。後、一回の更新料も非常に少ないです。

・小説を書くのは素人なので文章力とかそういうものに関しては自信はありません。この作品を通して成長していけたらと思ってるので温かい目で見守ってやってください。

## Prologue 「始動」

「大丈夫。安心して？絶対に死んだりしないから」「私を攫い拘束している主が優しく微笑囁きかけてくる。だけど、その言葉はただ私にさらなる恐怖を与えていた。

狭くて暗い、窓の無いその小部屋に閉じ込められて鎖でつながれて。そんな状態で安心なんてできるわけがない。

それに - -

「なんなの……その機械……」

今まで見たこともない大きな機械。それが一体何をするもののか、形からは全く想像できない。

「どんな機械かは、すぐに分かるよ」

河童は、そう言い機械を操作すると、一際目立つ大きな赤いボタンに指を宛てがつた。

「さて、あなたはどんな貌かたちになるのかな」

そしてボタンに触れた指を、思い切り押し込んだ。

泉堂 妃里（せんどう ゆり）は人間の里で暮らす「ごく普通の女性」だった。年は17で、結婚を約束した幼馴染の男性と共に暮らす毎日。

背中にまで届く長い黒髪はそのスタイルの良さと高い身長と相まって妖艶な雰囲気を醸していた。

美女と言って差し支えない彼女はその目立つ容姿と温和な性格から人里でも人望の厚い人物だった。

そんな彼女は不自由なく充実した日々を送っていたが、その満た

された日々はある日突然終わりを迎えることになった。

長い梅雨が明け、宙に昇る太陽が焦り焦りと照り付けてくるこの夏。

その日は特に暑く、妃里は幼馴染と一緒に湖に水浴びに出かけた。

遠くに大きな蛙と戯れる氷精を眺めながら2人は素足になり浅瀬で涼んでいた。湖の水は冷たく炎天下の中足に触れる水が非常に心地良い。

「ここは湖の水はやつぱり冷たくて気持ちいいな」

「うん。それに人も妖怪もあんまりいないからのんびりできるのもいいよね」

「いや、妖怪の類は多分いるとは思うけど……そのおかげで人は少ないし昼だから妖怪もそこまでいないし。それに氷精は相変わらず馬鹿やつて冷氣振りまいてるし、避暑には最高だよな」

「まあ私はあなたがいればどこにいても幸せだけだね」

妃里はそう言って男に微笑みかける。

幸せな光景。

そんな二人を気の影から眺める一人の妖怪の姿。

「……幸せそうに笑ってるね。どうせ誰でもいいなら、せっかくだからあの二人を引き裂いてあげようかな」

水色の短いツインテールに青い瞳。襟と袖以外髪と同じ青の服。その外見は河童の河城にとりに瓜一つだった。

だがその言動は彼女とは似ても似つかない。幸せな二人を引き裂くことを平気で行なおうとする。

「そうと決まれば、早速行動つと。思い立ったが吉日つていうもんね」

スカートのポケットから手の平サイズの六角形のなにかを手に取り、しっかりと握る。

タンと右足で地を蹴ると一飛びで二人の前まで行き、バシャンと音を立てて着地した。

「だ、誰！？」

「誰だ！！」

二人の叫声が同時に響く。

「私はひより。河童の河城ひより。突然だけどそつちの女性には私の実験体になつてもらひことに今決めたから、攫っていくわよ」

「なつ

「え……」

次の瞬間、ひよりが右手に持つていた六角形のなにかから強い光が放たれ二人の視界を奪う。

「っく！妃里！無事か！？」

男の声が湖に響く。だが、その声に答えるものはそこにはいなかつた。

男の視界が戻ったとき、そこには自分以外誰も残されていなかつた。

## Prologue 「始動」（後書き）

### 登場オリジナルキャラ紹介

- ・ 泉堂 妃里（せんどう ゆり）  
人間の里に住む容姿端麗な女性。  
明るくやさしい里の人気者。
- ・ 河城 ひより  
にとりの姉。自身の作品には絶対の自信を持つている。  
自分の作品を第一に考えていてそのための犠牲などは厭わない。  
そのスタイルから妹のにとりとは疎遠である。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3117m/>

---

獣蹄鳥跡

2010年10月15日20時57分発行